

十二月のことば

水野源三という詩人をご存知でしょうか。彼は小学四年生の時、脳性マヒで手足の自由を奪われ、口も利けなくなりました。十二歳の頃、一時的に片言を話せる時期があり、その時、口に出る言葉は絶望的に『死ぬ』と言うだけだったそうです。ある日、教会牧師が家に訪ねて来て、聖書を置いて行きました。彼はむさぼるように読みました。読むといつても、自分でページをめくることは出来ません。母親が本を立て、洗濯ばさみでページをはさみ、仕事の合間に走って来てはページをめくるのでした。聖書を読み、牧師の導きでイエス様の救いを知った少年の心に、神さまに愛されているという喜びがわき上がってきました。『死ぬ』という言葉はいつしか神様の賛美の言葉に変わっていました。言葉といつても口で表現することは出来ません。母親が指で示すひらがなを一つ一つまばたきで知らせて、字を拾っていくのです。そうして彼はまばたき詩人と呼ばれるようになり、この詩を残しました。
『悲しみよ 悲しみよ お前が私をこの世にほのびた大きな喜びがかわらない平安がある 主イエス様のみもとにつれて来てくれたのだ』彼は47歳で生涯を終えましたが、彼を紹介した『地上に輝く星たちマツダ』という本には「動くことも語ること出来ないけれど、その輝くような人生は、多くの人々に心の灯をともしたい」と記されています。『死ぬ』としか言えなかつた絶望を黒く染まらした心、まことの光であるイエス様が来てくださった、その光を映し出す人としてくださったのです。クリスマスはまことの光をお祝いする日。共に喜び祝いましょ。

「その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである(聖書)」

◎十二月の保育目標

【主題】『うれしいクリスマス』く心ひらかれてく

【聖句】「ひとりのみどりごが、わたしたちのためにうまれた。ひとりのおとこのこが、わたしたちにあたえられた。」

- ↑ クリスマスの出来事を知り、喜び、祝う。
- ↑ まわりの人々、社会、世界の出来事にも目を向け、恵みを分かち合う。
- ↑ お互いの思いや考えの違いを受け入れようとする。
- ↑ 聖劇やお歌をみんなと力をあわせてお稽古する。
- ↑ 受ける嬉しさを知ると同時に、人に贈る喜びを体験する。
- ↑ 手洗いやうがいを通して、健康に過ごす。

◎十二月の行事予定

- 四日(月) 工作教室
- 五日(火) おはなしクラブさん来訪日
- 十三日(水) 避難訓練(火災想定)
- 二十日(水) 第二学期終業式・クリスマス祝会
- 二二日(木) 個人面談(希望者)
- 二五日(月) クリスマス讚美礼拝 10時

◎十一月の行事報告

☆3日(祝) しらゆりバザーが開催することが出来ました。今年度は富坂で行われた『きつきちヨビコ通り市』に参加させて頂いた。幼稚園を一步出た開催となりました。お天気に恵まれ、沢山のお客さんをお迎えして大盛況となり、心から感謝しています。園児のお店もクッキーやお芋ケーキ、ポッポーンを売り大変立派にお店番が出来ました。また、限定20席のお茶席も(柳家さん二階の和室好評で、大役を果たした子どもたちもとても満足気でした。案内八ガキに添えて、卒園児もしらゆりブースに多く集ってくれました。久しぶりの再会を共に喜び合い、懐かしく、うれしい時となりました。感謝!

☆12日(日)七五三幼児祝福式の礼拝を親子で守りました。これまでの成長を親子で共に喜び、大きく育ててくださった神さまに感謝し、これからも優しく、たくましく成長出来ますようにと、みんなでお祈りしました。祝福式では一家庭ずつ前に進み出て、子どもたち一人一人、竹井真育牧師(園長先生)に祝福をしてもらいました。記念の足形と千歳飴を持ち帰ることが出来ました。

☆13日(月)、杵築市の防災フェスタに参加することが出来ました。杵築小学校グラウンドに集合した警察・消防・自衛隊の色々な車両や防災のための設備や器具を実際に触ったり乗ったりして防災意識を高めました。放水体験に加え、白バイに乗った、被災地で活躍した医薬品供給車両や自衛隊の装甲車救助のための道具も間近で見せてもらい勉強になりました。又カレーの配布もあり、皆で小腹を満たして帰りました。感謝!

☆24日(金)、収穫感謝祭の礼拝を守ることが出来ました。お家から持ち寄った、お米、おみかん、かぼす、柿やりんご、お芋、大根、かぶ...等々。神さまからの贈り物に感謝を捧げました。礼拝後、子どもたちは、消防署を皮切りに、日頃お世話になっている近隣の方々を訪問し、収穫の喜びと感謝の気持ちを届ける神さまのお手伝いをする事が出来ました。

☆27日(月)、ウクライナへの支援金(白百合バザーの益金の一部)を持って、市長室を訪問しました。「戦争で困っている人のために使ってください」と市長さんに手渡すことが出来ました。これからも、社会や世界の出来事に目を向け、困っている方々を覚えてお祈り出来る子どもになれるよう願っています。

☆お知らせとお願い☆
◎12月20日(水)午前九時三十分より、第二学期終業式、クリスマス祝会を行います。保護者の方のご参加をお願いします。クリスマス祝会では、子どもたちのプレゼント交換を行いますので手作りのプレゼントの準備をしてください。ご希望が致します。締切は18日(月)まで。ラッピングをして名前を書いてお持たせてください。(子どもたちには内緒に!)



『収穫感謝祭』 2023. 11. 24